~収穫が終わっても被害防止対策を!

収穫後・秋からの鳥獣被害対策を紹介 圓農林水産課(☎0848-38-9473)

稲刈りが終わってほっと一息のところでは ありますが、来年の作物を鳥獣被害から守る ための秋~冬期の田んぼの管理方法をご紹介 します。

野生鳥獣の餌となる

農家の皆さんが大切に育てた水稲は、野生鳥獣に とってもとても美味しく栄養価が高くて魅力的な ものです。それは、稲刈り後に伸びてくるひこばえ も同じです。野生鳥獣がひこばえをおいしい餌とし て覚えてしまうと、来年鳥獣被害にあう可能性が高 くなってしまいます。



▲ひこばえの

管理動画

↑ひこばえを食べる イノシシの様子 (出典:広島県)

「収穫後の耕うん作業」 または「侵入防止柵の維持

秋~冬期の田んぼの管理として、ひこばえが出な いように収穫後の耕うん作業をします。耕うん作業 をしない場合には、侵入防止柵をそのまま維持しま す。電気柵は24時間通電で設置します。もし、通電 させない場合は柵線を撤去して、田植え前に張りま す。これは、野生動物に電気柵が怖くないと覚えさ せないためです。ワイヤーメッシュ柵などの場合 は、柵沿いの草刈りと破損やすき間がないか点検 し、必要に応じて補修をします。柵の出入り口を開 放したままにしないことも大事です。

テゴスにご相談ください!

農林水産課にテゴス職員が駐在(月・水・金曜)し、 市の担当者と一緒に鳥獣対策支援を行っています。 お気軽にご相談ください。



▲HP

